



【第139号 目次】

- ・教育コラム「磨」
- ・まなnetの玉手箱
- ・講座案内
- ・速報



磨

高知南中学校・高等学校 探究型学習プログラムで実践してきた「学習評価」

高知南中学校・高等学校 常駐指導主事

平成27年度、高知県教育委員会は高知県立高知南中学校・高等学校（以下、「高知南中高」という。）をグローバル教育推進校として指定し、高知県教育センターの指導主事を常駐させ、本県の今後の地域振興、産業振興を担うグローバル人材を育成するために、グローバル教育プログラム（探究型学習プログラムと英語教育プログラム）について研究してきました。高知南中高は、探究型学習プログラムの研究において、東京大学 高大接続研究開発センター 高大接続連携部門 CoREF ユニット（現、一般社団法人教育環境デザイン研究所 CoREF ユニット）が提唱する「協調学習」に着目し、協調学習を引き起こしやすい「知識構成型ジグソー法」を用いた教材づくり、授業づくりを研究・開発してきました。研究当初から課題となったのが、「教材開発」と「学習評価」です。本稿は、高知南中高の探究型学習プログラムで取り組んできた「学習評価」について述べたいと思います。



◇ 生徒の授業での変容を見取る「前後理解比較法」

知識構成型ジグソー法は、授業のはじめとおわりに同じ学習課題に取り組ませます。学習の前と後で取り組ませた意見等を比較し、評価規準と照らし合わせて、生徒一人一人の授業での変容を丁寧に見取ります。その変容を授業改善に生かします。評価については、高知南中高では学習指導要領等を参考にしながら生徒の実態を踏まえてルーブリック評価表を作成しました。

◇ 生徒の活動を見取る「多面的対話分析」

グループワークなどの活動を通して、子供たちにどのような資質・能力を育成したいのか、それらの資質・能力は具体的にどのような姿として発揮されるのかということを想定したシート（「見とりの参観シート」）を作成し、言語活動を見取ってきました。このことで、授業者が活動に明確なねらいをもつことができました。シートの作成は教科会を中心に行われ、中高の校種を越えた授業づくりの交流の機会となりました。シートを用いることで公開授業では、教科を越えた協議が、さらに活性化しました。

高知県立高知南中学校・高等学校 見とりの参観シート
中学校2年生 国語 「近代の短歌」 メインの課題「石川啄木のこの短歌が愛されてきた理由は何だろう。」

評価項目	身につけさせたい資質・能力	授業の中で期待する力の発揮のされ方	生徒の姿の具体例（発言など）	メモ欄
課題発見・解決の力の育成	問題発見・解決能力	短歌の中の言葉や、啄木のことについて、疑問を抱いている。	・「『空に吸はれし』ってどういうこと？」 ・十四歳と十五歳って違うの？	
	情報活用能力	・与えられた資料やメモ用紙を自分なりの方法で活用している。 ・エキスパート資料同士のつながりを見つけている。	・エキスパート活動において、線を引いたり印をつけたりしながら資料を読んでいる。 ・各エキスパートからの報告をもとに、ワークシートに自分なりの方法でメモをし、情報を整理している。	
「思考力」「判断力」「表現力」の育成	言語能力	・自分の言葉で説明している。 ・自分の考えを表現するのに通じた言葉を探している。	・エキスパート資料を自分の言葉で要約して、ジグソーグループで報告している。 ・自分の言葉に換言して確認している。 「それってつまり……ってどういうことだね？」 「Aの資料に……って書いてよかったやん。それって、……ってことやないが？」 ・自分の身近な言葉に置き換えている。「啄木って不良やったがって」 ・通じた言葉を探している。「何て書いたらいい？」「○○とか」「それいいね」	
	論理的・批判的思考力	・課題に向かって対話、議論しながら思考を深めている。		
主体的・協働的な学びの実現	主体性・協働性	・自ら考える、学ぼうとする姿勢が見られる。	・エキスパートの報告に対し、あいまいなところやよくわからないところを質問している。「これってどういうこと？」「もう一回言って」 ・「わからん」と言いながら、考え続けている。	
	想像力・創造力	・短歌の作者の心情や、詠まれている情景を想像している。	・短歌の内容に共感している。「私も学校を抜け出したいときあるわ〜」「空見たら、なんか良い気分になることあるやん？」	

このような学習評価は、不断の授業改善を実践していくという考え方が基本となっています。高知南中高は、これからの時代に対応できるような資質・能力の育成をめざし、生徒一人一人の学びを丁寧に見取って、授業改善につなできました。

高知南中高の教員を対象としたアンケートでは、これらの実践を通じて「ルーブリックやポートフォリオなどを用いて生徒の学びを評価している。」(4件法)という項目の肯定的回答が、令和4年7月は平成29年度から比べると37.8ポイント上昇しており、高知南中高版グローバル教育プログラムの実践が教員の多様な評価の取組への意識につながったことが伺えます。

高知南中高は、来年度いよいよ高知国際中学校・高等学校と統合します。高知南中高が実践してきたグローバル教育の実践報告書や、探究型学習プログラムの公開授業で利用した学習指導案、教材、ルーブリック評価表などを、右のQRコードから接続できるサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

高知県立高知南中学校・高等学校
探究型学習プログラム
授業実践紹介サイト



※接続には「高知県 Google アカウント」が必要です。

※「前後理解比較法」、「多面的対話分析」はいずれも CoREF の考案です。



まな net の玉手箱

プログラミング教材を見て思うこと

中部教科研究センター 指導アドバイザー 水田春寿

私が教員生活を始めた頃は、試験の採点を暗算と筆算で処理しており、とても大変でした。担当の生徒は二百数十人おり、採点後の確認作業には、かなり気を遣いました。そのため2、3年後に電卓が発売されたときはうれしくて、迷わず購入したことでした。



また、担当していた理科では数値計算が必要なことも多く、何とかデータを効率的に処理できないかと思い始めた頃、雑誌で、アメリカで発売されているマイクロコンピュータの紹介記事を見つけました。小学生用のコンピュータ教材とともに紹介されており、「一生遊べるおもちゃ」と書かれていたのを思い出します。それからしばらくして1979年頃だと思いますが、日本で同じようなマイクロコンピュータの組み立てキット(パーソナルコンピュータと書かれていました)が発売されました。自宅で静電気破壊に気をつけながら、配線のハンダ付けや組み立てをしました。記憶装置は音楽用カセットテープだったため処理に時間がかかりましたが、BASIC (Beginner's All-Purpose Symbolic Instruction Code) や機械語等の勉強のつもりで遊びました。

その後、特別支援学校(当時は養護学校)に転勤しました。コンピュータのことはしばらく忘れていましたが、その学校にも同じような仕様のコンピュータがありました。数学でBASICを取り扱ったときは、生徒が大変興味をもって取り組み、放課後にも使わせてほしいと言って、寄宿舍からやって来ました。彼らが、教科書やBASICの説明書のプログラムを互いに協力して入力・実行し、楽しんでいたことが思い出されます。私の予想以上に生徒がコンピュータに興味をもったことは、大変うれしいことでした。



さて、小学校でも情報教育が取り入れられ、教科研究センターで高知県教育委員会事務局のプログラミング教材キットの貸し出しを担当して3年目になりました。私は、小学生がプログラムを組んでロボットカーなどを動かすことができるのかどうかに興味があったため、授業で使用した先生に聞いてみました。小学生がスマートフォン等で操作に慣れていることもあり、プログラムを組むことなどは思ったより容易にできること、教材キットの部品の組み立てなどに案外時間がかかることなどを聞かせてもらいました。

現在、コンピュータは作成されたアプリケーションソフトウェアを使うことがほとんどになりましたが、プログラムを組み、具体物を制御する経験などは、子供達に将来取り組みたいことができたとき、課題を解決するための良い経験になると思います。この教材が多くの先生方や小学生に利用され、役目を果たすことを願っています。

講座案内

あなたも教科研究センター講座に参加してみませんか？

令和4年度教科研究センター講座 特別講座Ⅱ「協調学習の授業づくりに関する講座」

- 1 期 日 令和4年11月19日(土) 9:30~12:00 (受付 9:15~9:30)
- 2 会 場 高知県教育センター 3階第33、34研修室 高知市大津乙181
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 「知識構成型ジグソー法」を活用した協調学習の授業づくり

「協調学習」とは、「一人ひとりが主体となって答えを作り、対話を通じて自分の考えを見直したり、広げたりしながら、よりよい答えを作るような学び一般のこと」です。その学びを実現するための一つの手法が「知識構成型ジグソー法」です。本講座では、知識構成型ジグソー法の講義・演習を通して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる授業づくりについて考えていきます。教科の見方・考え方を働かせながら、生徒の資質・能力を育成するポイント等について、参加者の皆さんが校種や教科を越えて学び合えるような講座を実施します。

- 5 講 師 高知県教育センター 指導主事 大菊 賢
- 6 申 込 11月8日(火) 16:30 締切



令和4年度教科研究センター講座 特別講座Ⅲ「中・高の英語の授業づくり実践講座」

- 1 期 日 令和4年11月19日(土) 13:30~16:00 (受付 13:15~13:30)
- 2 会 場 高知県教育センター 3階第33、34研修室 高知市大津乙181
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 主体的に英語で「理解する・表現する・伝え合う」授業づくり

本講座では、英語における「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりについて、「目標と指導と評価の一体化」の視点で、受講者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。どうぞ、お気軽にご参加ください。

- 5 講 師 高知県教育センター 指導主事 濱田 真美
- 6 申 込 11月8日(火) 16:30 締切



令和4年度教科研究センター講座 特別講座Ⅳ「郷土資料の活用Ⅱ」

- 1 期 日 令和4年11月26日(土) 13:30~16:00 (受付 13:15~13:30)
- 2 会 場 高知県立高知城歴史博物館 1階実習室 高知市追手筋2丁目7番5号
- 3 対 象 高知県内の教職員及び教育職を志す人
- 4 内 容 山内容堂と幕末維新史

今回の講座では、15代土佐藩主山内容堂(豊信)についてご紹介します。容堂は外様大名でありながら、嘉永6年のペリー来航以降、幕府・朝廷を中心とする中央政局で活躍した人物です。慶応3年に15代将軍徳川慶喜に大政奉還を建白し、江戸幕府を終焉に導いた人物であり、幕末史の重要人物として高校日本史の教科書にも登場します。今回は開催中の企画展にあわせ、山内容堂の生涯と彼の関与した中央政治について、「安政の大獄」「公武合体」「大政奉還」「王政復古」のポイントについて解説します。

※講座終了後、希望される方は展示室をご見学いただけます。

- 5 講 師 高知県立高知城歴史博物館 資料学芸課長 藤田 雅子
- 6 申 込 11月16日(水) 16:30 締切

教具の貸出しについて

教科研究センターでは、アーテックロボ、コード・A・ピラー(本部のみ)やボッチャの貸出しを行っています。詳しくは、各教科研究センターにお問い合わせください。



速報



教科研究センター(本部・東部・中部・西部)

令和4年9月の利用者状況 **267名**

◆◇ご利用ありがとうございました◆◇



《 教育センターの四季：
渋柿を食すスズメバチ 》

教科研究センター(本部)	高知県教育センター2階(高知市大津乙181)	TEL/FAX 088-866-3903
東部教科研究センター	安芸総合庁舎4階(安芸市矢ノ丸1-4-36)	TEL/FAX 0887-34-8051
中部教科研究センター	中部教育事務所1階(吾川郡いの町枝川2410-7)	TEL/FAX 088-893-6597
西部教科研究センター	幡多総合庁舎3階(四万十市中村山手通19)	TEL/FAX 0880-35-6251

教科研究センターホームページアドレス <https://www.kochinet.ed.jp/studycenter>